

桜友会報

第15号
2019.8.30

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会
「桜友会」

〒154-8533

東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

今年のテーマは、「いつまでも元気に」
10月6日(日)に桜友同窓会を開催します。

今年の桜友同窓会は2019年10月6日(日) 11時から学園本部で開催します。

桜友会は昭和女子大学附属昭和小学校同窓会として早や66年、4年後には70周年を迎えます。5000名を超える卒業生にとっては懐かしい母校で開く同窓会にぜひ皆さんお誘い併せてご参加ください。柴田芳明

校長先生はじめ多くの先生方、恩師の先生方にもご臨席いただく予定です。

本年は若者に風疹やはしか(麻疹)が流行ったり、OB・OGもだんだん年齢を重ね、また多くの会員が親世代のご家族の健康管理にもご苦労されている中、『いまどきの医療を上手に受けるには』と題して、横浜

市立大学附属病院院長、国立病院機構横浜医療センター院長を歴任した平原史樹桜友会会長(6回生)が自ら講演をすることになりました。

来学された折には、なお一層国際化が進んでいる今の学園の姿もぜひ皆さんには目にさせていただきたく思います。学年幹事のみならず方も連絡しあって、多くの皆さんが先輩後輩の分け隔てなく交流し、学園の発展に思いをはせて楽しいひと時を過ごしていただきたく思います。

桜友同窓会

日時 2019年10月6日(日)
11時～14時30分
会場 昭和女子大学学園本部館
3階大会議室
会費 一般 3,000円
大学生・大学院生 1,000円
中高校生 無料
(会費は当日、受付でお支払いください)

参加申し込み

会報同封のハガキを9月17日までにご返送ください
(参加返信無しで飛びこみでのご参加も歓迎します)

総会

(議事、報告) 学園近況報告

講演

『いまどきの医療を上手に受けるには』

桜友会会長 平原史樹

(横浜市立大学名誉教授)

お集りください!

卒業50周年(11回生)

卒業60周年(1回生)

ご参加の方には
記念品贈呈

同窓会11回生の方全員に

第14回同窓会・卒業50周年参加
代表者より感想を頂きました。

今回の総会では、私たち10回生の卒業50周年をお祝いしていただきまして、本当にありがとうございました。当日は6人しか出席できませんでしたが、金沢から来てくれた同級生もいて、久しぶりに会った仲間と楽しい時間を過ごすことができました。さらに、当日だけでなく、この「お祝い」をきっかけにしばらく停滞していた私たち10回生の同期会活動を再び活気づけることができたのはとてもうれしいことです。

今回の総会に向けて、事前に打ち合わせをして参加者を増やしたいと思い、幹事でなくても幹事会に出席してもらえないかと何人かの同級生に連絡を取りました。しかし、生憎皆さんお忙しくて、幹事会の出席者は私一人でした。ところが、メールで幹事会の連絡が回っていたため、その中の一人が8月に暑気払いを兼ねて打ち合わせを企画してくれて、10人が集まりました。そして、その時から初等部10回生のラインのグループができたのです。まだまだメンバーは少ないですが、韓国にいる同級生とも繋がり、アルミの彫刻家として活躍している小野田謙勝さんの展覧会情報などもラインで送ってもらえるようになりました。結局総会当日は、急な用事等で残念ながら出席できなかった人もいたため、5月に何年かぶりのクラス会を開くことにもなりました。

このように、卒業50周年をお祝いしていただいたことが、私たち10回生にとっていいチャンスとなったのと同様に、これから50年目を迎える学年の皆さんにも、是非このチャンスを活かして頂きたいと思っています。

第53回生の懐かしいみなさんへ

お久しぶりです。小泉清裕です。昨年3月に初等部を退職し、今は昭和女子大学の大学院でわずかな授業を担当するだけになっています。しかし、全国の私立小学校関連のことや、小学校英語教育のことで相変わらずあわただしく過ごしています。

平成の最後のお正月には、皆さんの二十歳の記念同窓会が行われましたが、他大学での集中講座を担当している日にちと重なってしまい、同窓会にお誘いいただきましたが何うことができませんでした。大変残念で、申し訳なく思っています。皆さんは、きつと久しぶりの旧友との出会で、小学校時代の思い出がよみがえってきたことと思います。

私自身は年齢を重ね、小学校4年生の双子の孫娘がいる、立派な「おじいちゃん」になりましたが、今でも自分自身が小学生だった時のことを時々思い出します。そして、年齢と同時に体形や体力は大きく変化しています。性格や物の考え方、価値観や判断の基準はあまり変わっていないような気がしています。人の土台になっている大切なことの多くは、その人の小学校時代につくられるのではないかと思っています。

皆さんにとって、昭和の初等部で過ごした6年間は、年齢を重ねるたびに生き生きとよみがえって、日々



2018年同窓会 53回生と一緒に

の生活や人生の岐路で何かの役に立っていくことを信じています。特に皆さんは、卒業式間近の3月11日にあの未曾有の災害に出合い、卒業式も短時間で行わざるをえませんでした。あの震災は多くの人の命を奪い、さらに多くの人の人生を変えてしまいました。

皆さんは小学校卒業直前にあのような



経験をしたことで、きつと人の痛みや苦しみがわかる人に成長していることでしょう。皆さんが担うべきこれからの時代において、世界中の人々に対して、いつも本当のやさしさを示していくことが

できる人になっていると信じています。これからの世の中をより良くできるように、自分の持ち場で力いっぱい人生を歩んでいってください。

また、いつか同窓会を開いてください。そして、ぜひ、再度私にも声をかけてください。皆さんにお会いできる日がありますことを楽しみにしています。

昭和小学校前校長 小泉清裕

第53回生出席者代表 永井大之

この度は桜友同窓会で私たちの成人のお祝いをしていただき、ありがとうございます。懐かしい先生方や先輩方にお祝いしていただき、大変嬉しかったです。

私は初等部を卒業して中学で柔道をはじめ、大学生になった今でも選手として続けています。今は選手をやりながら体育の教師を目指して勉強しています。一昨年は運にも恵まれ、日本代表としてロシアで試合をしました。海外で試合をするのは初めてで、今までは違った環境の中で減量や体調管理を全てやらなければいけなかったのが大変でした。また、普段から日本代表として戦っている強い選手達と一緒に試合をすることができてとても良い刺激になり、また日の丸をつけて戦えるように頑張ろうと思いました。

久しぶりに会った友人たちは、それぞれの目標に向かって歩んでいました。私も友人たちに負けないよう、励んでいます。

第9回生同期会 野本一夫

2018年12月9日に渋谷で初等部9回生の同窓会が開催されました。1・2年生の時にクラス担任をして頂いた黒田(旧姓 織部) 民子先生もお声をお掛けしたところ快諾されご出席頂きました。渋谷の東急REIホテルの会場に集合したのは、黒田先生の他、風当(旧姓 河倉)、岡(旧姓 東)、小川(旧姓 加藤)、島田(旧姓 田草川)、野本の各幹事、それに鈴木(旧姓 和栗)、高野(旧姓 香村)、林(旧姓 老沼)、日高(旧姓 船坂)、船曳(旧姓 前田)、宮田(旧姓 佐藤)、浅



第9回生同期会

井(旧姓 長田)、加藤、金森、倉西、小山の合計17名。遠く関西からこの日のために駆けつけてくれたメンバーもおりました。

今でもずっと交流を続けているメンバー同士もいるものの、中には卒業してから初めて再会するメンバーもおり、当時の昔話、そして最近のメンバーの近況など、いろいろな話題に花が咲きました。皆還暦を過ぎていても関わらず、最近起業したメンバーも含めておじさん、おばさんパワーが満開。黒田先生からも当時は振り返った学校での思い出話、今だから話せる秘話まで貴重なお話をお聞かせいただけました。

会場では卒業記念アルバムの写真、それに黒田先生が大切に保管されている2冊のアルバムからの写真が大型のプロジェクターから次々と放映され、当時の思い出に懐かしさや驚きの声も。これらの写真はデジタル化され記念として同窓会后CDアルバムとして希望者に配布されました。

最後は次回の幹事の選考、そして初等部の校歌をみんなで斉唱して締めとなりましたが、ほとんど全員がそのまま2次会に繰り出し、さらに最近の話題などで盛り上がりつつ旧交を温めました。またこの機会に名簿も整備・改訂されてメンバーに配布されました。黒田先生をはじめめとして、多くのご出席者の方々、どうもありがとうございました。

第10回生同期会 齋藤一彦

若いころは毎年開催していたクラス会



第10回生同期会

も、最近は大分間隔が空くようになり、今回も久しぶりの再会となりました。それでもすぐに打ち解けることができましたのは、「昭和っこ」としての小学校時代の思い出を共有しているからでしょう。ライフシフトで、これまでと違うシニア世代の生き方を模索しなければなりません。その際、お互いの子供のころを知って、今も何一つ飾ることなく素のまま向き合える仲間がとて大切に思えます。

第21回生同期会 早川藤郎

2018年11月3日昭和祭の後、夕方から初等部21回生の同窓会を渋谷・中華「一品香」にて行いました。当日は初

等部5、6年生に担任をして頂いた大坪良穂先生にも出席して頂き、近況報告と昔話で大いに盛り上がりました。先生とは40年ぶりの再会とあって、何を話したらよいか始めは少し緊張しましたが、お酒も入りすぐに昔の気持ちに戻って会話も弾みました。それぞれの近況報告やビンゴゲームも企画し、終始楽しい会となりました。会場の一品香さんは同級生の西潟さんのお店で美味しい中華料理で皆大満足でした。ありがとうございました。同級生は皆50才を過ぎ、体も言うことをきかなくなってくる年頃ですが、今後またまに集まって励まし合っていたら(笑)と思います。

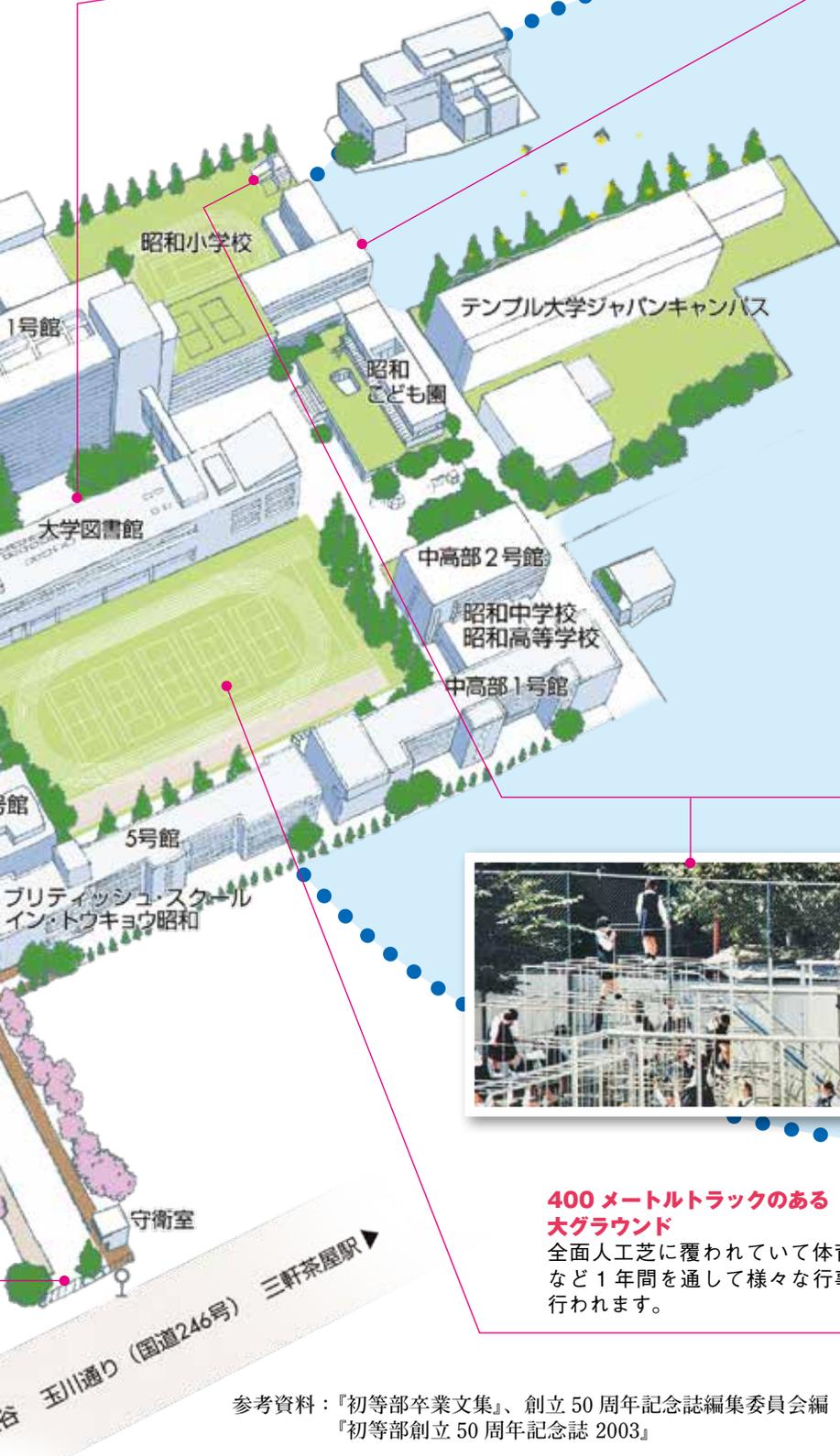
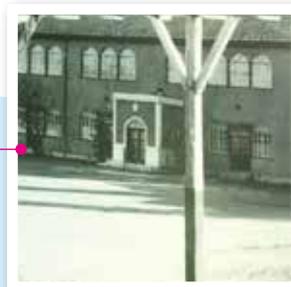


第21回生同期会



学園本部館前から初等部までの道。

本部館前のスペースから初等部に向かうまでのかつての昭和の森には、おしゃれなベンチがたくさん！
外でゆっくり過ごすこともできます。



現在の初等部校舎の様子

グラウンドは一面きれいな人工芝で覆われています。
子どもたちに大人気の遊具は、昨年新調！
ユニークな遊具の数々は子供たちの注目の的ですよ。



**400メートルトラックのある
大グラウンド**

全面人工芝に覆われていて体育祭
など1年間を通して様々な行事が
行われます。



参考資料：『初等部卒業文集』、創立50周年記念誌編集委員会編
『初等部創立50周年記念誌 2003』

学園の 今と昔

来年、いよいよ100周年を迎える昭和学園の現在の様子を
今と昔の写真を用いて紹介します。
是非、桜友同窓会を機会に学園へ足を運んでみてください！



創始者人見記念講堂

学校の大きな行事や外部の
コンサートなど幅広い用途
に使われています。



現在の正門の様子

正門から延びる道はた
くさんの自然であふれ、
四季折々、変わった景
色が楽しめます。



第53回生同期会 横田真優

私達第53回卒業生は、平成31年1月5日に同窓会を開催しました。卒業して以来、自分達で同窓会を開催するのは今回が初めてです。

同窓会を開催する事になったきっかけは2つあります。1つ目は今年の1月で成人の日を迎え、人生の節目である成人



第53回生同期会

のお祝いも兼ねて集まりたいと思ったからです。2つ目は、私達は東日本大震災の時の卒業生の為、卒業演奏や謝恩会も中止になりました。また、前校長の小泉先生はそんな私達の為に桜友会を開いてくださったこともきっかけの1つになりました。

当日までの準備には、多くの先生方のアドバイスを頂きました。そして、久しぶりに会う友達と色々な意見を出し、それぞれが率先して役割分担も行いました。初等部を卒業してからそれぞれの道に進んだ私達ですが、やはり昭和で学んだ精神は身についています。いざとなったら全員が声を掛け合い、行動できると改めて実感した準備期間でした。

当日は、先生方や友達に会えることの嬉しさや懐かしさで開催時間が待ち遠しくて仕方ありませんでした。会では、懐かしい初等部のクイズ大会やビンゴ大会を行いました。また、6年生の社会の授業で書いた「20歳になる自分への手紙」を富永先生から頂くとというサプライズもありました。3時間と言う時間はあっという間で、次に開催するのは5年後と約束をし、楽しい会は幕を閉じました。

今回、私達の心の奥にあった思いを形にすることができたのも、多くの先生方や私達を支えてくださった方々のおかげです。全員ではなくても、同窓会を通して集まることが出来て、一人一人の絆をさらに強めることができた1日となりました。

このような素敵な会を催すことができるよう、協力して下さった皆様に感謝申し上げます。

第59回生同期会 須藤香子

2018年8月19日に初等部の教室をお借りして、59回生の6年1組で同窓会を行いました。部活などでそれぞれ予定が合わずにいましたが、26名が参加でき近況報告やゲームなどであつという間に時間が経っていききました。

皆で話す内容も変わり、初等部時代にはない、部活動や勉強、遊びの話があがっていました。

2020年にまた会を開くことを共有して、会は終わりました。



第59回生同期会

母校今昔

昭和学園高等部卒業生の吉田昌子様より100周年を迎えるにあたり昭和学園の思い出をご寄稿いただきました。

昭和二十年四月と五月の戦災で失われた上高田の思い出をご紹介します。

懐かしい母校

大正十二年の関東大震災後に建てられた昭和高等女学校は、中野区上高田の高台にありました。昭和十九年五年・四年生が当校舎の最後の卒業生となってしまいました。一回目の校難は、関東大震災、二回目は、昭和二十年四月十二日の米軍による空襲時の焼夷弾投下による火災での全焼により校舎を失いました。当校は、当時大谷石の階段を十四、五段上がったところに門があり、左側の門柱に日本女子高等学院、右側の門柱には昭和高等女学校の名前が記され、そびえるようにたっていました。階段の上の門を入りまずと石畳の並木道を数メートル進んだ先に玄関があり、校則の「清き気品・篤き至誠・高き識見」の額が掲げられており、朝のご挨拶の一例をしてからアーチをくぐってそれぞれの教室にむかいました。校庭が高台ゆえに、上下に分かれ、校庭をつなぐ石段十二、三段あり、下の校庭の南側に六教室、西側に合同教室がありました。上の校庭はU字型に北校舎・西校舎・学院校舎・教員室・特別教室などがあり、その奥には学生寮もありました。いずれも木造二階建てで、ギンギン

鳴る床や階段の様子が今でもはつきりと目に浮かびます。上下校庭はいずれも狭いので、運動会は井草グラウンドや哲学堂グラウンドで行っていました。文化祭での学芸会は、日比谷公会堂や日本青年会館で学院生と合同で行ないました。

月に一度は、木々の茂る玉砂利の道を明治神宮へ早天参拝（午前五時頃集合）して清らかな気分になりました。参拝者休憩所にて松平俊子先生が短歌をまじえてお話ししてくださったり、人見圓吉先生のお話しがあつたりしました。松平俊子先生はお寒い中も、凛として身動きもなさらないお姿に、人見圓吉先生はそつと肩にシヨールをおかけになったいたわりと思いやりの姿を通して私達に優しさを教えてくださいました。早天参拝のおかげで、年を重ねた今でも先生方から色々とお話していただいたことを覚えており、有難く思っております。

当時、女の先生は和服に袴、もしくははスーツ姿でしたが戦争が激しくなると、女の先生もモンペ（雪袴）を着用、スーツの先生もスラックスとはいえ現在のようには格好の良いものとは程遠いズボン姿、男性の先生もズボンにゲートルを巻いての姿でした。授業においても、体育は体操やダンス等はなく、薙刀（なぎなた）の練習ばかりになりました。また、戦争中のことで、他校の友人は英語教科書を処分したり、英語の授業は一切廃止したりで、今でも英語や横文字が苦手とかがうと、文学者であり教育者でいらつしやつた人見圓吉先生は先見の明がおありになり、「敵国語といえども、勝つても負けても英語は必要。」とおつ

しゃつて、英語の授業は平常通り学ばせていただいたおかげで、そのような苦手意識はなく、私どもは有難く、感謝の気持ちで新たにになります。さらに戦争が激しくなると勤労動員の為、全体の授業時間も少なくなりました。

今思うと、学業は満足に受けられず、軍需工場で三交替勤務し、昼夜を問わず空襲を受け、恐ろしい思いをしてもなお続けて動員に加わつていたのも、日頃の昭和精神が培われていたのかなとおもいます。

卒業式当日は、警報が発令された中で行われましたので、卒業写真もなく、卒業証書を受けられなかった方もあつた状態でした。卒業以来六十余年が過ぎ去りましたが、その時々々の昭和の教えに今でも感謝いたしております。

昭和十九年度卒業生 吉田昌子

学年幹事会を終えて

5月26日（日）第10回学年幹事会が開催されました。

学年幹事110名中、返信は45通、出席は役員含め21名でした。

昨年同様、出席者増には至りませんでしたが、今回も出席いただいた幹事の方からたくさんのご意見をいただきました。

- 校友同窓会（総）での「講演」は型苦しいイメージがある。色々なカテゴリーの中で系統立てて計画すると、楽しいイベントに繋がっていくのではないかと。
- その年にちなんだイベントの企画・開

催。（例えば、東京オリンピック関連等）

- 各プロジェクトに協力してくれる会員を募集する。
- 親子で楽しめるイベントを企画・開催。
- 現在初等部に在籍している児童の保護者に卒業生が多いので、参加協力をお願いしたらいよい。

幹事会後の懇親会では、柴田校長先生にお越しいただき現在の初等部の様子など、色々とお話をさせていただきました。ご出席いただいた幹事の皆様、ありがとうございました。

今回ご出席いただけなかった幹事の皆様、来年お待ちしております。

桜友会副会長 大野あや子

2018年度（平成30年度）収支決算報告・2019年度（令和元年度）収支予算案

会計期間：2018年4月1日～2019年3月31日（予算案については2019年4月1日～2020年3月31日）

科目	予算	決算	差し引き	R元年度予算案	摘要
収入の部					収入の部
入会金	1,000,000	1,365,000	365,000	1,000,000	
年会費 / 寄付	800,000	558,098	-241,902	600,000	
総会・懇親会参加費	150,000	166,000	16,000	150,000	
バザー売上・寄付等	300,000	285,070	-14,930	250,000	
銀行利息 / 利子	500	860	360	800	
その他入金			0		
計 (A)	2,250,500	2,375,028	124,528	2,000,800	
支出の部					支出の部
会報（作成・発送）	750,000	757,965	-7,965	750,000	
総会・懇親会参加費	1,000,000	299,882	700,118	300,000	
幹事会	100,000	78,332	21,668	100,000	
ホームページWebサイト	170,000	168,480	1,520	170,000	
事業費（昭和祭・運動会等）	400,000	172,037	227,963	1,200,000	下記※参照
通信費	70,000	80,572	-10,572	90,000	
事務費	50,000	13,615	36,385	20,000	
会議費	50,000	910	49,090	50,000	
予備費	150,000	100,000	50,000	150,000	
計 (B)	2,740,000	1,671,793	1,068,207	2,830,000	
当期収支差額 (A-B=C)		703,235		-829,200	
前年度繰越金 (D)		10,643,434		11,346,669	
来年度繰越金 (C + D)		11,346,669		10,517,469	

前年度繰越金	現金明細	
現金預金有高	10,643,434	ゆうちょ銀行定期定期 2,003,335
		ゆうちょ銀行通常預金 6,953,932
		みずほ銀行普通預金 2,383,555
		現金 5,847
合計	10,643,434	合計 11,346,669

合計金額の内、500万円は記念事業積立金です
※ 予算事業費内、100万円は学園100周年記念寄付金です。



2019 年学年幹事会

2019年 「昭和祭」

11月9日(土)、10日(日)

今年も小学校1階に校友会談話室を設けます。
是非お立ち寄りください!

今回の7回目を迎えた校友会バザーは、昨年同様、初等部2階西側のワゴンルームの一部と間口3m×奥行13mという広い渡り廊下で行われました。

ワゴンルームでは、第一回から参加してくださっている17回生・21回生の姉妹が作る美しい刺繍入りの手提げ、マフラー、エプロン、等々の売り場とし、渡り廊下部分では、校友会会員よりご寄付いただいたプラモデル、フィギュア、髪飾り、



昭和会バザー

のゲームコーナーが大好評

今回は、前回のゲームコーナーが大好評

会員の皆様の校友会バザーへのご理解と例年同様のお手伝い、並びに数多くの商品とご寄付をいただきまして、2018年11月10日(土)・11日(日)の昭和祭校友会バザーを開催することができました。校友会役員一同心より御礼申し上げます。

陶器類、タオル、スマホケース、リサイクル子供&大人服、バッグ類等、そして奥側半分は子供たちのゲームコーナーといたしました。

昨年同様、役員家族手作りのピンボールゲーム2台とじゃんけん大会に、初等部をはじめ幼稚部の子供たちが押し寄せ、歓声をあげてはお目当ての賞品を目指してがんばる姿に、役員初めお手伝いの会員全員が元気に幸せをたくさんいただきました。

すっかり定着した「校友会バザー」は、唯一卒業生と在校生の直接触れ合いの場であり、やがて校友会会員となる在校生にも「母校への感謝と未永い発展を願う」卒業生の一員として母校の行事に参加する楽しさを感じていただける良い機会になって参りました。これはひとえに、学園本部の方々、初等部の校長先生を初め諸先生



ゲームコーナー

だったことを踏まえ、ゲームコーナーを拡大し、賞品を沢山入れ、その他会員からご寄付いただいた商品も思い切った価格にて販売した結果、二日間の合計235,070円の総売上となりました。本売上金及びバザーのためにお寄せ

いただいた寄付金合計50,000円を合わせた合計285,070円から商品仕入代金及び諸経費合計99,287円を差し引いた185,783円を、初等部創立70周年の御祝金とするべく積立金とさせていただきます。

最後に、初等部父母会より、校友会バザーについていくつかの意見・ご注意等をいただきました。つきましては、本年バザーをお手伝いして下さる会員の皆様には、在校生が卒業生との交流の場を楽しんで頂けるよう、バザー会場に入られる前に配布いたします「注意事項」をよく読んで、遵守していただきますようお願いいたします。

次回2019年の第8回昭和祭バザーにつきましては、会員・学年幹事の皆様からのご意見を大切にしながら、更に「校友会らしい、楽しいバザー」を開催したいと思っております。今後とも校友会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和祭バザー実行委員長 大石恵津子

◆補助金申請について

校友会会員が、クラス会・学年同窓会を開催する場合に、校友会より補助金を進呈することにつき、以下の通り規定いたします。

1. 10名以上出席の同窓会(クラス会・学年同窓会)1回につき開催補助金を1万円とする。
2. 補助金申請は、公平を期すため原則年間1度限りとする。
3. 補助金受渡しは原則同窓会開催前に、学園本部館1階校友会室とし、補助金申請書に記名いただいた上で進呈する。その際、幹事の方に以下①②③をお願いするものとする。

①同窓会開催後、同窓会の寄稿文と写真を校友会メールアドレス
(ohyu@swu.ac.jp)に送ること。

②出席された会員に、今後も年会費の納入をお願いすること。

③住所変更など変更事項があった場合は、速やかに校友会に申し出ること。

4. 校友会は、補助金申請と進呈記録を作成し、学年、組、幹事名、連絡先、開催日時、場所等を記録し、後日のために保管する。

◆会費納入のお願い

毎年、2000円の会費納入をお願いしております。郵便振替用紙を同封しておりますのでご利用ください(手数料のご負担もお願いいたします)。恐れ入りますが、お名前、何年生(又は卒業年)、住所、Eメールアドレスをご記入ください。

尚、すでに今年度分を納入済みの方にも振替用紙を同封しております。また、過去の会費は徴収しないこととしておりますのでご了承ください。

校友会 ホームページ

◎アドレス◎
<http://showa-ohyukai.jp>
◎検索◎
「昭和小学校 校友会」
◎QRコード◎



校友会 連絡先

メールアドレス: ohyu@swu.ac.jp
FAX番号: 03-3411-5356